

「あおもり家庭教育アドバイザー養成講座 第3回」

下北地区：令和5年8月2日（水）下北文化会館 11名

中南地区：令和5年8月8日（火）弘前市総合学習センター 15名

1 趣旨

地域における家庭教育支援体制を整備するため、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人材を「あおもり親楽プログラム」を使う研修会等に派遣する。

2 内容

【見学・講義】「家庭教育支援チーム・子育て支援団体等見学」

〈下北地区〉

講師 学校法人星美幼稚園 幼保連携型認定こども園
園長 關 洋子 氏

〈中南地区〉

講師 社会福祉法人清光福祉会 城東保育園
園長 三浦 テツ 氏



3 講義要旨

〈下北地区〉

- ・平成14年4月より子育て支援サークル「にこにこ・キッズ」を開設。就園前の子どもたちの遊び場の提供、子育てママたちのストレス解消を目的に行っている。内容は、うた遊び・リズム遊び・製作遊び・行事遊び・読み聞かせ等で、幼稚園の夏祭りや運動会にも招待している。
- ・課題として、参加者の減少や日常の保育活動との関係、内容のマンネリ化などあるが、保護者同士や保護者とスタッフの繋がりを大切にしながら子育て支援を行っている。

〈中南地区〉

- ・「キッズネットクラス」は平成10年から活動している、家庭教育支援活動である。当時の時代背景などから「親も子どもも、楽しく過ごすことができる場所」を作りたいと願い、周りの協力を得ながら開設した。地域の大人も親も型にはまらないで遊べる場、触れ合える場、自分を表現できる場、そんな場所を作りたい、提供したいと考えている。

4 アンケートから

〈下北地区〉

- ・子育て支援の運営の仕方、雰囲気等、とても参考になりました。また、活動プログラム、導入から活動終了まで、担当した教諭の方の細やかな保育も勉強になりました。自身の保育、自園の子育て支援を見つめ直していきたいと思います。
- ・むつ地区では転勤族が多いので、親の孤立を防ぎたいという思いに、なるほどと思いました。
- ・たくさんの保護者が、このような子育て支援の場所を知り、心に余裕を持って、子どもと向き合っていて欲しいと思いました。

〈中南地区〉

- ・子ども一人一人に目を向けた遊びの提案をしていて、楽しく遊びに誘っているテクニックがとても勉強になりました。スタッフの方が常に笑顔で、子どもたちも笑顔いっぱいの楽しい空間でした。
- ・三浦先生のお話の中で、キッズネットクラスの活動が25年以上続いていると伺いました。近隣の子育て世帯の利用だけでなく、お盆などで帰省した家族も利用したり、ボランティアとして関わりたいと連絡してくれたりする方もいるようで、ゆるやかな経営体制が受容的な雰囲気を作っていると感じました。

第3回は、「家庭教育支援チーム・子育て支援団体等見学」でした。地域の実際に行われている活動を見学することができ、受講者にとって貴重な機会になりました。